



し ろ や ま

令和 7 年 3 月 17 日

第 13 号

校長 黒原 裕一

かしこく成長しました～皆様の支えに感謝～

「本沢に引っ越してきてください。」という 3 年生の学習の成果をまとめた YBC ラジオ放送。お聞きいただいた皆様からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。3 年生だけでなく、全ての学年の体験活動を温かく支えていただいた地域の産業に従事されていらっしゃる匠の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、諸団体の皆様、今年度も全員の子供たちが、ふるさとを大切にすることを豊かにし、かしこく成長することができました。ありがとうございました。本日、それぞれの学年の修了。明日が卒業式となります。



修了式「目標の振り返りと宇宙飛行士に大切な心」～抜粋～

今年は、学校の教育目標である「豊かな心をもち、かかわりを大切にしながら、ともに生きる喜びを感じる子供」に近づくために、「思いやり」「まねしてかしこく」「力をあわせる」の三つのキーワードでがんばってきました。

特に「まねしてかしこく」については、勉強や生活の中で、「よく教科書を見てみよう。」「先生の教えてくださったことをまねしてみよう。」「6 年生の掃除のやり方をまねしよう。」「友達の跳び箱の跳び方をよく見てまねしよう。」「友達の図工の作品からヒントをもらったよ。」「算数の学習で、前に習ったこととつながってる。」と、たくさん挑戦できました。家族のまねをしてお手伝いが上手になった人もいたのではないですか。「まねしてかしこく」は、勉強や生活が楽しくなったり、得意になったりするよい方法です。「何をまねしようかな。」「どこにヒントがあるかな。」「まねをできる友達はだれかな。」とアンテナをピンと立てておくといいでしょう。これからもどんどんまねしてかしこくなってください。

「思いやり」「力をあわせる」については、本沢小学校のみなさんが得意なことだと分かりました。あいさつや優しい行動、みんなで同じ目標に向かって、仕事や役割を分担して挑戦することなど、よくがんばっていました。「大成功」と喜んだ活動、「ありがとう。」とお礼をもらった優しい行動、その後は「よおし、次もがんばろう。もっとできる。」と思ったことでしょう。得意なことがあることは難しいことに挑戦するエネルギーになります。これからも「思いやり」「力をあわせる」ことをがんばりましょう。

2 つ目のお話です。これは、私が以前お仕えした校長先生が全校朝会で話をしてくださった内容を「まねして」お話しします。今から、20 年くらい前のお話でしたが、今でもよく覚えています。いつかみなさんに話しをしてみたいなと思ったテーマです。

今、人類の宇宙開発は、ロケットで宇宙に行って帰って来るだけでなく、世界の国々が協力して国際宇宙ステーションを建設し、そこで何か月と研究したり、生活したりする段階になっています。今後は、「アルテミス計画」といって、月に行き来し、研究をしたり、物資を運んだりして、将来的には月で生活することをめざしていくそうです。その後は、地球から一番近い惑星である「火星」にも同じように行くことができるよう研究を進めていくことになりそうです。

そんな宇宙開発において「宇宙飛行士」とは、宇宙に行って帰って来る人から、宇宙で一定の



間生活し、地球に帰って来る人に変化してきました。

これまで日本人の宇宙飛行士は、11人います。6年生は、修学旅行で東京のお台場にある日本科学未来館を訪れたので、少し想像できるかと思います。11人の宇宙飛行士は、多くの方の中から選ばれた人たちで、お医者さんやパイロット、自衛隊で働いていた方や機械の研究開発に携わっていた人など、様々な職業の方です。多くは選抜試験で選ばれるのですが、その試験において大切にされてきたのが、「宇宙飛行士に大切な心」です。宇宙飛行士の試験の担当者の方によると、狭いロケットの中や国際宇宙ステーションでは、役割を分担し、様々な装置を動かしたり、トラブルに対応したりしなくてはなりません。様々に意見を交わすこと、異なった考えがもとになり対立も起こります。ですから、チームワークをとれる心、分かりやすく説明すると「誰とでもなかよくできる心」が大切なのだそうです。一人、一人のよさをつなぐ心が宇宙での難しいミッションをやり遂げるためには必要なのですね。

さらにもうひとつ「あきらめない心」も大切です。宇宙で行う多くのことは、予定通りには行かないそうです。「え？」ということが重なって、「もうどうにもならないや。」と簡単にあきらめてしまってはだめなんです。時には命に関わることもありますから、あきらめないで最後までやり遂げて、そして安全に地球に帰って来ることが大切なのです。

この2つの心は、小学校生活においても中学校生活においても、一人一人が心掛けていると身に付けることができる「心」かと思います。ぜひ「誰とでもなかよくなれる心」「あきらめない心」について、考えてみてください。

私も先輩の校長先生をまねして話をしてみました。もしかしたら、みなさんの中に未来の宇宙飛行士がたくさんいるかもしれませんね。※参考 めざせ「未来の宇宙飛行士」榎本麗美 時事通信社



一年間を振り返って（修了式での1年生の発表）



一年生になってできるようになったこと
 一年 かしわぐら ゆきな
 わたしは、できるようになったことがいっぱいあります。
 一つ目は、小さい子のめんどろをみられるようになったことです。さくらぐみさんをおんがくしつにつれていって、つきんをおしえてあげました。おしえたらにこにこしていました。
 二つ目は、大なわとびです。はじめは、みんなとべなくてつづかなかったです。できる人がアドバイスをくれたので、みんなとべるようになりました。大かいでは、百三十かいとべました。がんばってよかったなとおもいました。
 三つ目は、かかりのしごとです。じかんわりをはるのをまい日がんばりました。こくばんをけすのもがんばりました。こくばんは、まいじかんけさないといけないのでたいへんでした。だけどみんなのためにがんばりました。
 小学生になって、ほいくえんではできなかったことができるようになって、うれしかったです。もとさわ小学校もおともだちも先生もだいすきになりました。
 二年生では、九九と音どくをがんばりたいです。
 ☆ゆきなさんは、がんばったことを三つの内容のまとまりに整えて発表できました。小さな子のめんどろを見たこと（思いやり）、上手にとべる友達のまねをしてみんなでチャレンジしたこと（まねしてかしこく）、しごとをぶんだんしてスムーズなぐらしができるように毎日つづけた当番のしごと（力をあわせる）、学校全体でがんばる目標に照らして、しっかり振り返っています。【校長より】

明日は第78回卒業式 13名のあおぞら学年の子供たちが巣立ちます。

4月・5月の主な行事

4月7日（月）新任式・始業式

4月8日（火）入学式 ※午前

4月17日（木）全国学力学習状況調査

4月26日（土）学習参観・総会等

4月28日（月）振替休業日

5月13日（火）相撲大会

5月22日（木）学校運営協議会

5月29日（木）～30日（金）

5年宿泊学習（自然の家）

6月3日（火）陸上記録会（6年）

6月5日（木）なかよし遠足（1,2年）